

2021年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 貨物鉄道博物館

1 事業の成果

NPO法人として設立12年目に突入した今年度は、昨年度同様に、新型コロナウイルスの影響により、年間を通じて様々な面で活動の制約を余儀なくされたものの、会員相互の努力によって、展示車両の修復作業を継続して実施した一方で、インターネットを通じた広報活動等に加え、地元イベントとのコラボレーションによる臨時開館を実施するなど積極的な事業活動を展開し、当館の活動をより広くアピールすることができた。

当博物館は県外の来館者が非常に多いことから、今年度も行政のまん延防止措置に合わせて定例活動日の事業実施を見合わせる月を設けるなど、来館者や関係者の安全安心を第一に活動を進めたが、そうした中でもスタッフ全員が精力的に活動に取り組んでいることから、次年度以降もさらなる活動の充実が期待できる一年となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従業者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|--------------------|----------------|--|------|--------|--------------|---------|
| 近代化遺産の修復技術の提供 | 展示鉄道車両の修復作業 | 随時 | 当館 | 10名 | 不特定多数の当館来館者 | |
| 本館の目的を達成するために必要な事業 | 収蔵品公開日の資料等提供事業 | (定期公開) 毎月第1日曜日 午前10時から午後4時まで (臨時公開) 今年度は11月・3月に臨時開催を実施 | 当館 | 30名 | 当日来館者約1,300名 | |

(2) その他の事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従業者の人数 | 支出額 |
|------|------|------|------|--------|-----|
| 該当なし | | | | | |